

# サプリメントに頼らない生活

薬剤師 藤竿伊知郎 (外苑企画商事)

「サプリメント」として10年以上にわたり国内外で利用され、2003年の発売以降、健康に対する影響は報告されていません」という企業の主張を認めてしまいました。

しかし、トクホでは安全性の問題で許可されず、消費者団体が届出の撤回を求めたりコムのエノキタケ抽出物「蹴脂粒」は、11月に発売されました。消費者庁は追加資料を求めるのではなく、「サプリメント」として10年以上にわたり国内外で利用され、2003年の発売以降、健康に対する影響は報告されていません」という企業の主張を認めてしまいました。



高い効果が期待できると思わせるような広告を「景品表示法」で取り締まっていますが、「医薬品医療機器法」で有効性・安全性の観点から偽薬を取り締まることが求められます。

届け出のガイドラインでは、トクホに準じた臨床試験か、審査のある専門誌で発表された複数の論文にもとづく評価による「機能性」の実証を求めています。毎日新聞の記事によると「事業者が独自にヒトの臨床試験を行った製品は1割程度で、残りは各種文献の評価に基づき表示」となっています。

機能性表示食品は開発費用が数百万円です。効果表示の自由度も高いため、販売金額はすでにトクホの10分の1になるうとしています。

食群・プラセボ群それぞれが十数人といった小規模試験は、偶然に差がつくことも多く信頼性が低いものです。このような試験を積み重ねても有効性の評価にはつながりません。

## (20) 機能性表示食品制度 1年目の問題点

機能性表示食品制度は2015年4月にスタート

実習先の病院で民医連を知り、自分の家から通える範囲で探した時に見つけた代々木病院がいいなと思いました。

【一面から続く】  
れない人を見てきて、帰ってもちゃんと生活できるように状態にして、送り出せるような理学療法士になりたいと、思うようになりました。訪問リハビリをしたいと思います。



受診した時から地域に帰るまでが看護

■玉城つばさ(たましろ つばさ) 看護師  
親せきなど周囲に医療従事者が多いのですが、看護師がいなため逆に興味を持ち始めました。

玉城つばさ(たましろ つばさ) 看護師  
親せきなど周囲に医療従事者が多いのですが、看護師がいなため逆に興味を持ち始めました。



成長できる職場 理想的な環境

地域密着の病院で、いろいろ勉強したい

学校の実習で代々木病院ではすごく指導していただけて、勉強面でも色々教えてくださりお世話になりました。

■今村貴史(いまむらたかふみ) 理学療法士  
おじいちゃんが入院して、リハビリを見ていて興味を持ちました。代々木病院だけでなく色々なところで活躍できる人間になりたいです。



看護士

■村井みどり(むらいみどり) 看護師  
近くに住んでいる祖母がリウマチで通院していたので、入院をした時に病院に行くことが多くなり、その時最初に看護師が立派に感じたいイメージを持ちました。看護学校の実習の中で在宅医療がすごく楽しかったです。



連携事業所めぐりのまとめの準備をしている新入職員

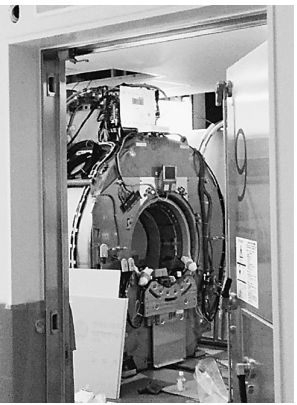
着した病院だから、そういうところで色々勉強をしたいなと思いました。患者さんの不安を聞いていける看護師になりたいです。

## 東葛病院 建て替えニュース No.18



小児科の外来表示機(上)、ヒーリングアート(下)

新病院で設置工事が進められているMRI



旧病院、新病院で引越し準備進む  
4月16日竣工祝賀会を開催、翌日の内覧会には1300人以上の地域の方たちが参加されました。新病院建設は、いよいよ旧病院からの安全安心な移転の詰めを行っています。患者さんの移転や物の移転をスケジュールする移転行程作成が急ピッチで行われています。

## 小さな入れ歯と大きな入れ歯

### 口の上下で 大きさ異なる —その35—

乾燥した磨りガラスを2枚合わせても接着することはありますが、濡れた磨りガラスを合わせるとなかなか剥がれないほど接着します。これが、総入れ歯が口の粘膜



渋谷区・石井和子

【唾液が接着剤】  
乾燥した磨りガラスを2枚合わせても接着することはありますが、濡れた磨りガラスを合わせるとなかなか剥がれないほど接着します。これが、総入れ歯が口の粘膜

【上下で異なる】  
上と下の入れ歯を比較すると、上の入れ歯は面積が広く半円形ですが、下の入れ歯は馬蹄形をしていて面積が小さいのが特徴です。

【大きいのが主流】  
昔の入れ歯は、湯飲み茶碗の中で洗えるほど小さい物が主流でした。大歯で作ると倍以上の大きさになり、大きい入れ歯は、患者さんからは「大きすぎる」と不評でした。

【歯科医師 柳田健一 (代々木歯科)】  
入れ歯となると食事かなりの制限が出てきます。一部に歯が残っている「部分入れ歯」の場合、入れ歯に金属のバネをつけて、ある程度は安定させることができます。しかし、「総入れ歯」になると、食べる時に不自由なだけでなく、大きく口を開いた時や話をしていても、入れ歯が外れやすくなります。

【大きいのが主流】  
昔の入れ歯は、湯飲み茶碗の中で洗えるほど小さい物が主流でした。大歯で作ると倍以上の大きさになり、大きい入れ歯は、患者さんからは「大きすぎる」と不評でした。



に吸い付く原理です。そして、周囲の粘膜に上手に囲まれ、粘膜と義歯の間に空気が入らないよう噛む力がかかると、粘膜が変形して吸盤のような作用が働きます。口の中では唾液が大切な役割を發揮するため、口が乾燥している人はなかなか入れ歯が落ち着きません。

反対に下の入れ歯は面積も小さく、アゴが動くのも舌が動くのも下のアゴなので、どうしても外れやすいのです。特に、歯を支えてきたアゴの骨が吸収し、歯が無くなるため、噛む力が前後左右に動き、痛みも起きやすくなります。



小さな入れ歯と大きな入れ歯